

聖霊降臨の主日

福音朗読 ヨハネ 20・19-23

2023.5.28 9:30 ミサ

カトリック高円寺教会

主任司祭 高木健次神父

今日はこのあとに幼児洗礼式がありますから、主に今日洗礼を受けます H さんに向かって話します。でも話したいことは実はさっき準備の時に一回お話ししました。

どんなことをお話ししたかと言えば、「H さんは自分のことばかり考える、お父さんやお母さんや友だちが困っていても気にしない、自分のことばかり考える人になりたいですか。それとも、周りの人のことも考える優しい人になりたいですか、親切な人になりたいですか」と聞いたんです。そしたら、「親切な人になりたいです」って言ってくれました。

それは、神様も、H さんのこともわたしたちのことも、他の人のことも考える親切な人に造りたいと思っただけ。でも、わたしたちがそのことに OK をしなければ、神様が勝手に、わたしたちがそれを望んでないのに勝手に、わたしたちを親切な人に無理やり造るってことはなさないんです。わたしたちは、赤ちゃんだけじゃなくて、死ぬまでずっと神様に造られていっている、その途中なんですけど、今日洗礼を受けるっていうことは、神様が「H さん、わたしはあなたをみんなのことを考える親切な人に造りたいと思うんだけど、いいかなあ？」って聞いてきている。その神様の質問に「OK ですよ。そうしてください」って答える。それをカトリック教会の洗礼式っていう形の中で、神様に OK を言う。それが洗礼の意味です。そのようにして、神様が H さんのことを親切な人に造りたいと思っただけ、みんなのことを考える優しい人にだんだんなっていくし、そのためだったら神様の恵みはいくらでもくださる、というわけです。

でもじゃあ、今日わたしたち人間がすることは、この日に OK を出すだけか。そうじゃないですね。神様がわたしたちのことを優しい親切な人に造ろうとしている、そのことにわたしたちも洗礼式の日 OK を出した。それをいつも忘れないで思い出し続けるし、自分の心が、お父さんお母さんが大変な思いをしているのに、でも自分としては「ああ、今度のクリスマスに何もらえるのかなあ」とか自分のことばかり考えているな、友だちが困ってるのに「ま、関係ないや」って思っちゃう意地悪な心になってるなって気が付いたら、「親切な心にな

れるように助けてください」って神様にお願いし続けるということを約束するということでもあります。お願いし続けないと、「あれ？ やっぱり親切な人になるのをやめたのかな？」って神様が思ってしまいますから、やっぱりわたしたちはいつもお願いし続ける。

そのようにして、神様が望んでいるような、そしてわたしたちも、自分が意地悪な人になりたいと思う人ってほとんどいないと思います。でも、そのためには神様の恵みが必要ですから、それをいつも願い続ける、そのことを約束したいと思います。

そんなわけで、今日、洗礼式を通して、「みんなのことを考える優しい人に神様どうぞ造ってください。神様の恵みに OK を出します」、そのことをいつも忘れないで、神様と共に協力して、優しい親切な人になれるように恵みを願い続けて欲しいなあと思います。

そして洗礼を既に受けているわたしたちも、この洗礼式の日、そしてまた堅信式の日、神様の恵みに対して、「恵みを与えたいと思っているのだけど、与えていいかなあ」という神様からの問いかけに OK を出した、そのことを思い起こしながら、一人ひとりを形造られる神様の恵みに信頼することができますように、今日この幼児洗礼式を通して、洗礼を受ける H さんはもちろん、わたしたちみんなが改めて神様との繋がりを感謝して思い起こしたいと思います。

それでは、これから洗礼式に入ります。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>